

市民と市長の対話集会 資料

「新しい上越市の展望」

～「海に山に大地に なりわいと文化あふれる 共生都市上越」をめざして～

新上越市の展望

1 新たな上越市の誕生 ～ 海に山に大地に なりわいと文化あふれる 共生都市上越

(1) 合併の背景

経済・社会の構造変化...価値観の変化、人口減少・少子高齢化、産業構造の転換 等
地方自治の情勢変化 ...地方分権・三位一体改革の進展、国・地方の財政状況悪化 等

地方の業務量・責務は拡大する一方、財政状況は厳しいものに

持続的発展、自主自立が可能な地域づくりの必要性 「地域経営」の視点が必要

・「市町村合併」の実現

...究極の行財政改革、多様な地域資源を結集し地域力を向上する手段

・税源涵養施策の推進

・地域の課題を行政と市民等がともに担う「官民協働」の推進 (71ページ 図表1参照)

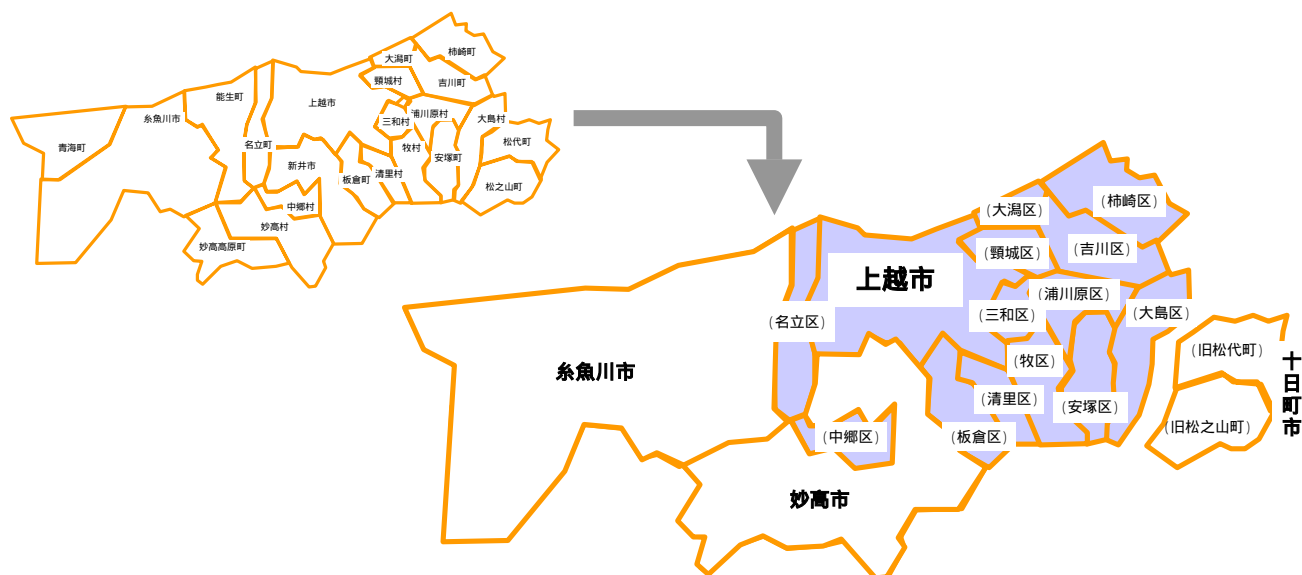
...行政の役割・守備範囲の見直し 市民・民間の力を最大限活用

...「民間でできることは民間で」「地域でできることは地域で」

(2) 平成 17 年 1 月 1 日 新上越市の誕生

人口、世帯数は県内 3 番目、面積は県内最大に (平成 17 年 4 月 1 日現在)

単なる行財政改革という視点にとどまらず、50 年、100 年の大計に立って、自主自立が可能な地域力を備えた自治体を構築していく



《合併後の上越市の主な指標》

		合併前の 上越市 (H16.12.31現在)	合併後の 上越市 (H17.4.1現在)	増減	備 考	
基礎 データ	人口(人)	135,488	211,318	1.56倍	県内3番目(H17.4.1現在)	
	年少人口割合(%)	14.9%	14.3%	-0.6%		
	生産年齢人口割合(%)	64.0%	62.1%	-2.0%		
	老年人口割合(%)	21.1%	23.6%	2.5%		
	世帯数	47,652	70,049	1.47倍	県内3番目(H17.4.1現在)	
	面積(km ²)	249.20	972.62	3.9倍	県内で最大(H17.4.1現在)	
		うち中山間地域	119.43	590.64	4.9倍	全体に占める割合:49.7% 60.7%
	産業構造 (%)	第1次産業	3.4%	6.9%	3.5%	
		第2次産業	32.6%	35.7%	3.1%	
		第3次産業	64.0%	57.1%	-6.9%	
その他	小学校数(市立)	29	54	1.86倍		
	中学校数(市立)	9	22	2.44倍		
	保育園数		42	68	1.62倍	
		市立	28	52	1.86倍	
		私立	14	16	1.14倍	
	町内会数		338	822	2.43倍	
		地区協議会数	16	29	1.81倍	合併後は見込数
	NPO団体数(認証済)	26	46	1.77倍	団体数は県内2番目(H17.6.24現在)	
市役所職員数	1,129	2,361	2.09倍	合併前数値はH16.4.1現在		

- ・新市では、田・畑、山林・原野、池沼・雑種地等の面積は、総面積の95%に達する。
- ・特に田・畑の割合(総面積の21.5%)は新潟県全体(15.9%)と比べて高く、この地域の特徴といえる。

産業構造は「平成12年国勢調査」による数値

**(3) 新市の将来都市像「海に山に大地に なりわいと文化あふれる 共生都市上越」
をめざして ~個性・特性あふれる地域資源と恵まれた交通ネットワークを最大限活用~
個性・特性を活かしたまちづくり**

新しい上越市は、海、山、大地に豊かな自然とその恵みに育まれた個性・特性あふれるまちに

新上越市は、個性がより鮮明に

旧上越市：「商業都市」 新上越市：全国有数の「農業都市」という個性を有するまちに
農山村の多面的機能と高次都市機能を併せ持つ「農山村と都市が共存・共生するまち」をめざす

- ・水田面積、水稻収穫量、米の農業産出額(8~9㌥) 図表2「農業に係る全国ランキング」参照
全国2位に(H17.4.1現在)(旧上越市では、それぞれ全国34位、28位、21位)
耕地面積(18,482ha)は東京都や大阪府、神奈川県、奈良県の各都府県の耕地面積を上回る規模に
- ・大豆の作付面積(1,490ha)・収穫量(2,133t)も県内有数規模 平成15年度実績

	大豆作付面積(ha)	大豆収穫量(t)
新潟市	1,794(県内1位)	2,841(県内1位)
長岡市	1,112(県内3位)	2,221(県内2位)
上越市	1,490(県内2位) 《旧上越市 556(県内1位)》	2,133(県内3位) 《旧上越市 765(県内3位)》
新潟県	9,596	15,644

- ・市役所に「農林水産部」を新たに設置し、地域の基幹産業である農林水産業の振興に取り組んでいく

合併により獲得した数多くの地域資源（自然・歴史・文化等）はまさに本物の「宝」の山。スケールメリットを生かし、これらを有機的に結び付け、ブランド化を図り、県内外に向け発信していく

全体の面積の約6割が中山間地域 地域の「財産」に

- ・中山間地域の多面的機能に着目
 - ...人の営みに不可欠な「水」の供給基地（水源涵養機能）
 - *世界では、今世紀半ば（2050年）までに最悪の場合60か国の70億人が水不足に直面
- ・東京農業大学と農業振興・まちづくり等様々な分野において連携協力する協定書を調印（H17.4.18）

主な地域資源（9~10頁→ 図表3「観光客の入込み状況」参照）

- ・温泉施設 （旧市内）2 （新市）3 6
- ・スキー場 （旧市内）1 （新市） 3 《H16 入込数：148,937人》
- ・蔵元数 （旧市内）4 （新市）1 6 《県内97場の約6分の1の規模に》
- ・ゴルフ場 （旧市内）0 （新市） 3
- ・海水浴場 （旧市内）2 （新市） 5 《H16 入込数：816,790人》
- ・桜スポット （旧市内）3 （新市）1 4 《見頃が約1月継続》 etc.

例えば、・・・

自然の恵みを生かした新産業の創出

- ・越後田舎体験事業
 - ...自然環境等の地域資源を生かし、来訪者が自ら体験でき、学ぶことのできる体験型観光を展開。いまや1億円産業に
- ・構造改革特区〔越後里山活性化特区〕の活用（11頁→ 図表4「新聞記事」参照）
 - ...自治体等から農地を借り、無農薬や有機栽培による都市住民向け市民農園の経営や農業生産、ポニー等小動物牧場の経営、民宿を営む農業者が自ら生産した米を使って濁り酒（どぶろく）を提供 等
 - ...公共工事の減少に伴い、構造転換が求められる建設業が参入

各地区（特に過疎地域）の定住化促進につなげていく

（12頁→ 図表5「新聞記事」参照）

- ・個性を打ち出し、資源を活かし「なりわい」づくりを図る
 - ...第1次産業（生産）×第2次産業（加工）×第3次産業（販売・情報発信） 6次産業化
 - *地域の農林水産物（1次産業）を活用して、それを加工し（2次産業）販売（3次産業）し、地域の活性化を推進

商工業にも「なりわい」あふれるまちづくり

ものづくりを中心とした工業の盛んなまちに (13'→' 図表6「新市の工業の状況」参照)
製造品出荷額が2.2倍、付加価値額が2.5倍に(平成15年工業統計調査の数値比較)

- ・旧頸北地区などで基礎素材型を中心に工業集積が進んでいたことから、新しい上越市は、製造品出荷額(4,487億円)の県内順位は合併前の3位と変わらないが、旧上越市(2,029億円)の2.2倍に増加
- ・生産額から原材料費やその他のコストを除いた付加価値額を比較すると、合併前の上越市の743億円から、合併後には1,881億円と2.5倍に増加。県内順位も6位から3位に上昇

税源涵養につながるものづくり産業の活性化に全力

- ・「中小企業支援コーディネーター」などの制度を充実させながら、ものづくり企業のネットワーク化や受発注システムの構築に取り組み、地域の企業が相互に発展できる仕組みづくりを進める

中心市街地を中心とした商業の活性化

合併後の上越市の卸・小売業の販売額は、微増

- ・卸・小売業の年間販売額は、合併前の上越市が4,461億円で旧13町村では602億円(平成14年商業統計調査)。新しい上越市としては13%ほどの増であるものの、新潟市・長岡市に次ぐ県内第3位の商業都市のポジションは変わらず
- ・大型店の出店などにより、厳しい環境にある中心市街地の活性化や商業振興を重要課題として認識し、各種振興施策に取り組む

交通ネットワークをいかしたまちづくり

上越市は、直江津港や北陸自動車道、上信越自動車道のほか、JR北陸本線、JR信越本線、ほくほく線など交通の要に位置

- ・上越地方は奈良時代から交通の要衝
 - ・上杉謙信公の時代には、京都に次ぐ人口6万人を有し、京阪地方等と交易
- 現在建設中の北陸新幹線、上越魚沼地域振興快速道路が完成すると、距離的、時間的にも首都圏に一番近い日本海に面した都市に

21世紀の物流は、鉄道とフェリー輸送が中心に

交通インフラの充実は物流コストの削減につながる企業誘致の重要な武器。各種優遇措置を整備しながら、税源涵養に直接結び付く市内の産業団地等への企業立地の全力投球

《直江津港》

直江津港は、輸入（移入）品の販売、工場等の輸出（移出）、海運業等港湾関連産業への効果（税込・雇用誘発）を生み出し、当地域の産業を支える重要なインフラ
平成 16 年の国際コンテナ貨物（個数）が過去最高に（約 2 万 2 千個）

・取扱量の推移

年	11	12	13	14	15	16
取扱個数	13,696	19,329	19,244	21,781	20,451	22,160
前年比	125.3	141.1	99.6	113.2	93.9	108.4

- ・国際コンテナ航路 ~ 韓国（釜山）航路 週 2 便
中国（上海、大連、青島）週 1 便（H17.4.13 上海航路開設）

日本海フェリー航路

- ・会社更生中の東日本フェリー(株)ほか 3 社が、昨年 12 月 28 日、東京地方裁判所に更生計画案を提出。本年 3 月 31 日、運航する 8 つの航路全てを維持する同計画の認可が決定
- ・本年 6 月 3 日、東京地裁は、債権を早期一括弁済した東日本フェリー(株)ほか 3 社の更生手続き終結を決定

福岡市で「上越市の観光と物産展」を開催

- ・平成 17 年 11 月 18 日～11 月 20 日 福岡駅イベントスペース「GIGA」で開催

《北陸新幹線》

平成 10 年 3 月から長野・上越間、平成 13 年 4 月から上越・富山間の工事が開始
平成 16 年末、政府・与党申合せにより富山・白山総合車両基地間の平成 17 年度新規着工が決定され、長野・白山総合車両基地間で一体的に平成 26 年度末の完成を目指す

- ・H17.4.27 富山・金沢間及び福井駅部の工事実施計画が認可
- ・H17.6.4 起工式を実施

新幹線の開通は、新たな都市間競争の「スタート」

- ・都市圏との時間距離が短縮 ... 通過地点化・ストロー現象の懸念
- ・人・モノの流れが変わり、新潟県も新潟と上越に 2 極化していく

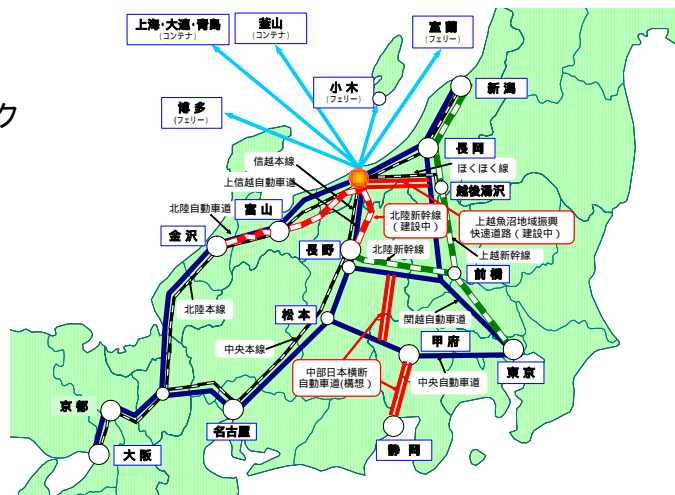
「交流人口の拡大」が最大の課題

- ・地域連携の強化、魅力ある「受け皿づくり」が必要

地勢的に上越地方は北陸・信越地方の中心に位置

- ・都市機能の整備・高度化を通じて州都の可能性を高めていく

《公共交通ネットワーク位置図》



2 これからの地域づくりに向けて

平成 17 年度は、持続可能な地域づくりに向け、以下の点に重点を置き、予算を編成

(詳細は 14 ~ 18 ページ 図表 7 「平成 17 年度の柱となる施策」参照)

地域の特性を活かした力強い産業の創出・育成に資する施策の推進

(主な新規・充実事業)

アグリビジネス創出支援、企業支援コーディネーターの活用、バイオスタウン構想策定、第三次観光振興 5 か年計画策定 等

自主・自立の地域づくりの推進

(主な新規・充実事業)

第 5 次総合計画の改定、自治基本条例の検討 等

安全・安心で安らぎのあるまちづくりの推進

(主な新規・充実事業)

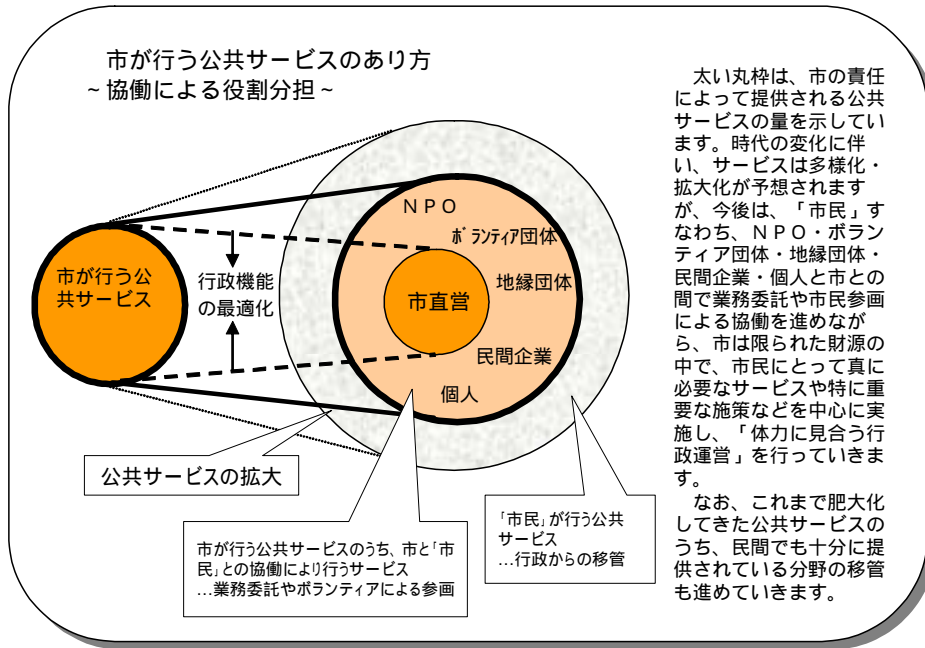
公共施設の耐震診断調査の前倒し・耐震補強工事の実施、町内会集会場耐震診断・耐震補強工事補助金の新設、木造住宅耐震診断支援の拡大 (H16:20 件 H17:50 件) 等

「地域経営」の改革を図り、自立度を高めていく

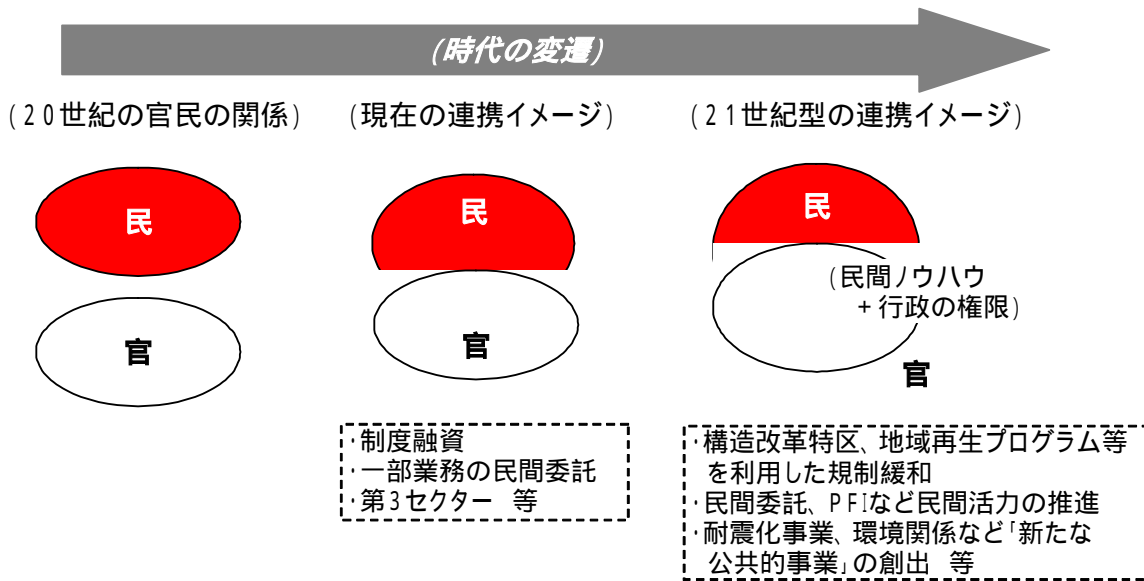
- ・ 今後は都市間競争が激化。個性・特性を生かし広域連携の度合いを深めていくことが重要。何もしない地域は埋没していく
- ・ そのため、行政は、政策立案能力、企画能力、市民や企業間との調整能力の向上が必要
- ・ 協働のまちづくりを進め、市民力、地域の経済力の向上を支援し、「ひと」も「まち」も自立できるよう努めていく

【図表1 官民協働について】

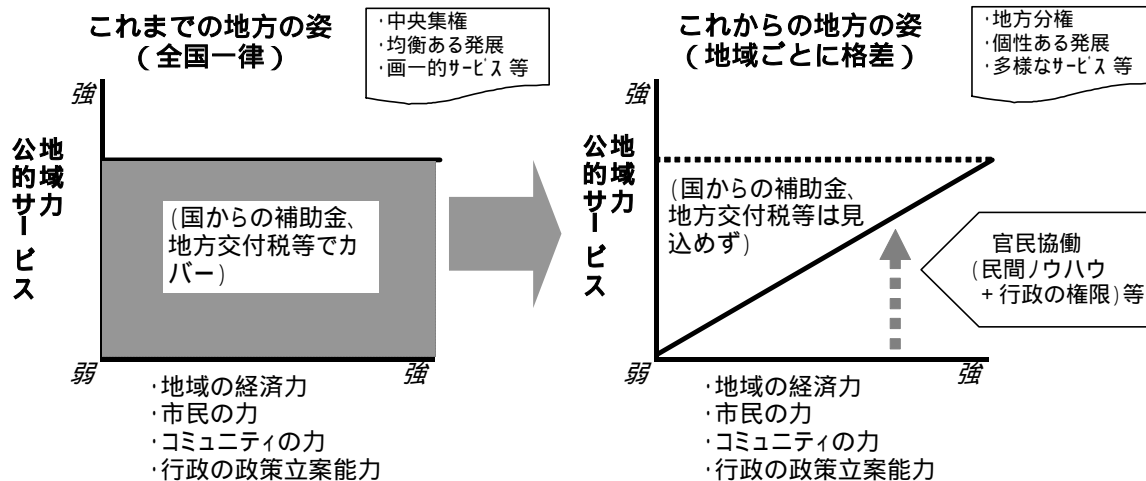
官民協働の考え方



産業振興における官民協働のあり方

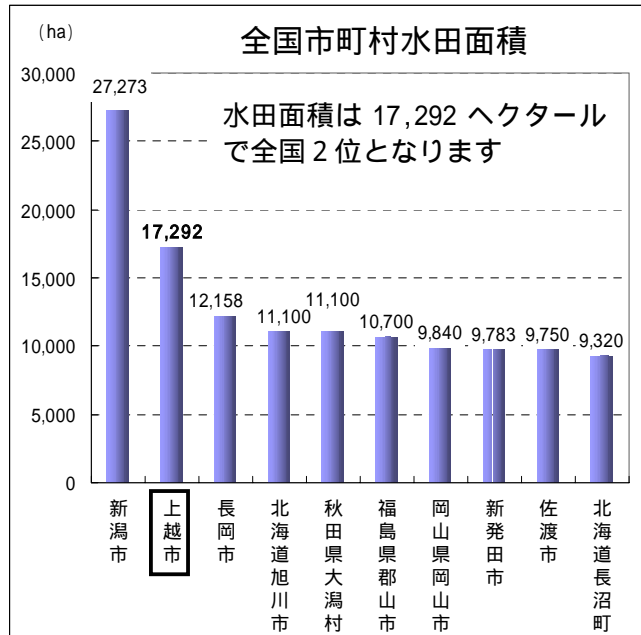
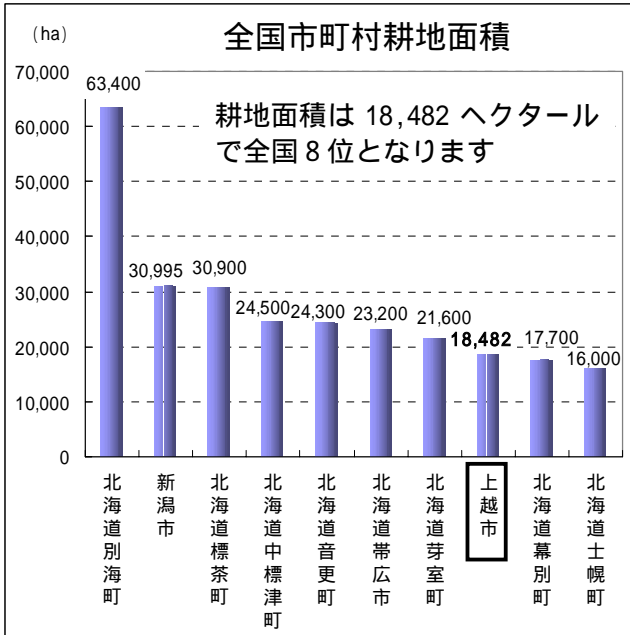


地域力向上の視点



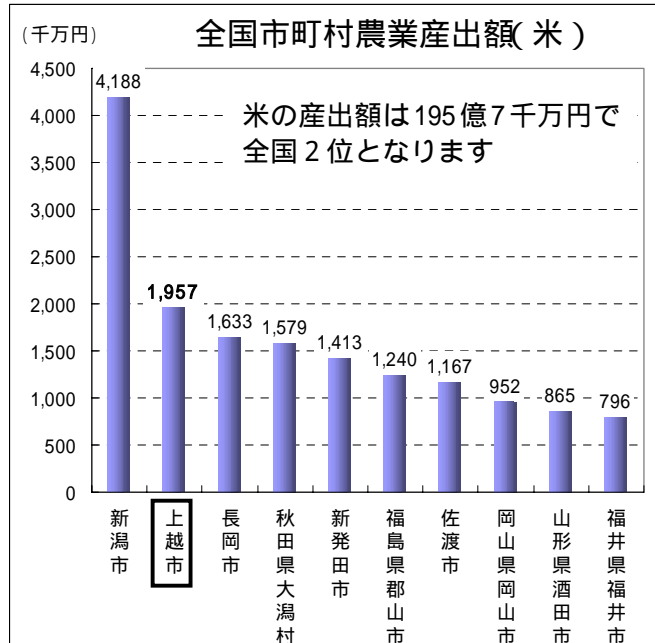
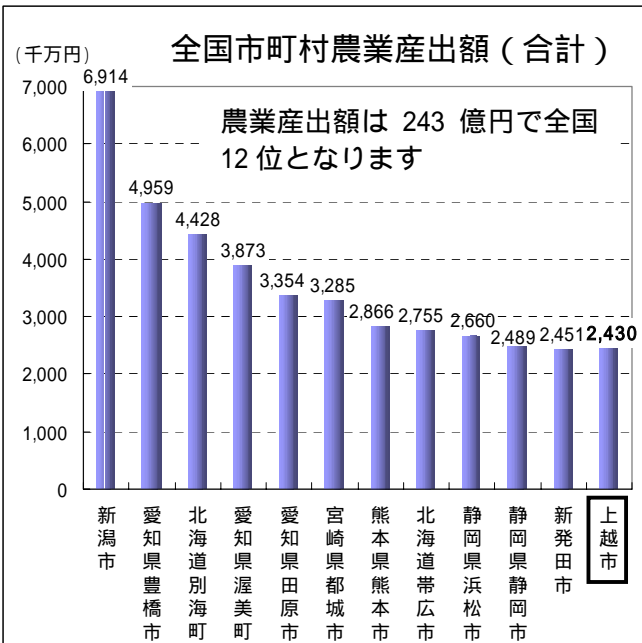
【図表2 農業に係る全国ランキング】

《平成15年》（新潟県内の市町村データは、平成17年5月1日までの合併に基づく数値）



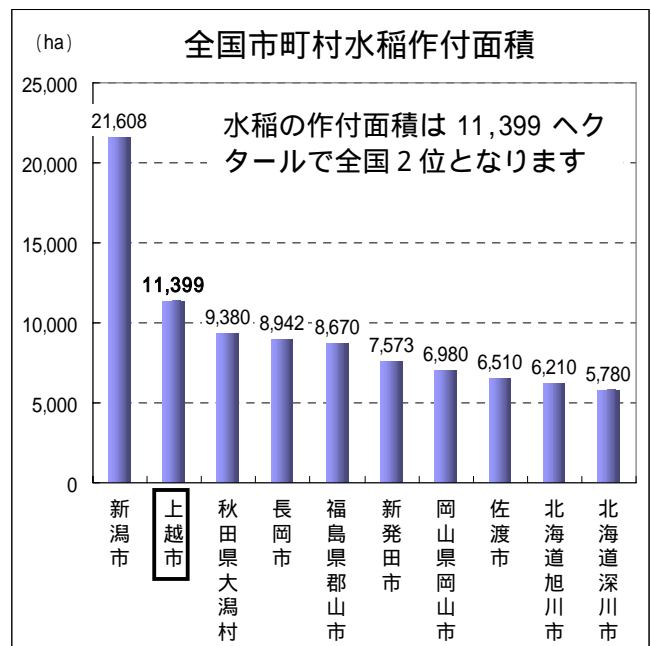
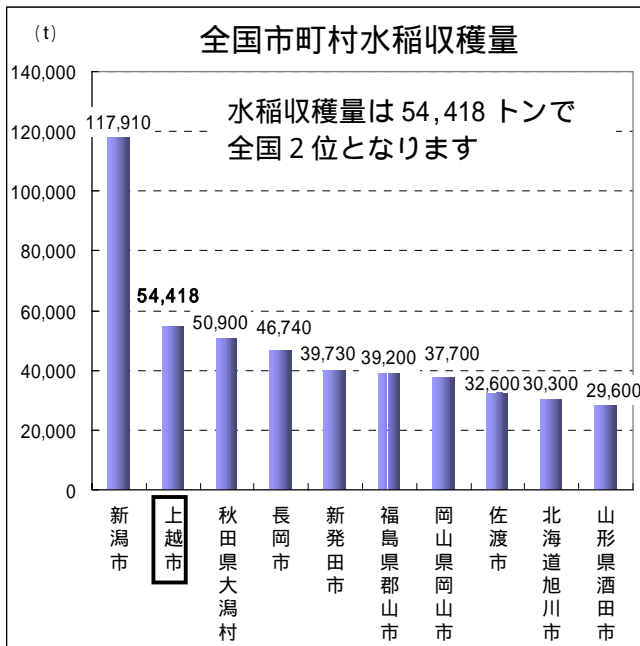
* 耕地面積：水田面積 + 畑面積（樹園地、牧草地を含む）
 旧上越市 5,460ha（全国 127 位）
 合併後（+ 1 町）の新潟市 34,455
 合併後（+ 4 市町村）の長岡市 18,652

旧上越市 5,180ha（全国 34 位）
 合併後（+ 1 町）の新潟市 29,963
 合併後（+ 4 市町村）の長岡市 17,107



* 農業産出額：米・野菜・果物・畜産に係る生産数量 × 販売価格
 旧上越市 72 億 8 千万円（全国 269 位）
 合併後（+ 1 町）の新潟市 7,606
 合併後（+ 4 市町村）の長岡市 2,758

* 米の農業産出額：米の生産数量 × 販売価格
 旧上越市 61 億 6 千万円（全国 21 位）
 合併後（+ 1 町）の新潟市 4,573
 合併後（+ 4 市町村）の長岡市 2,225



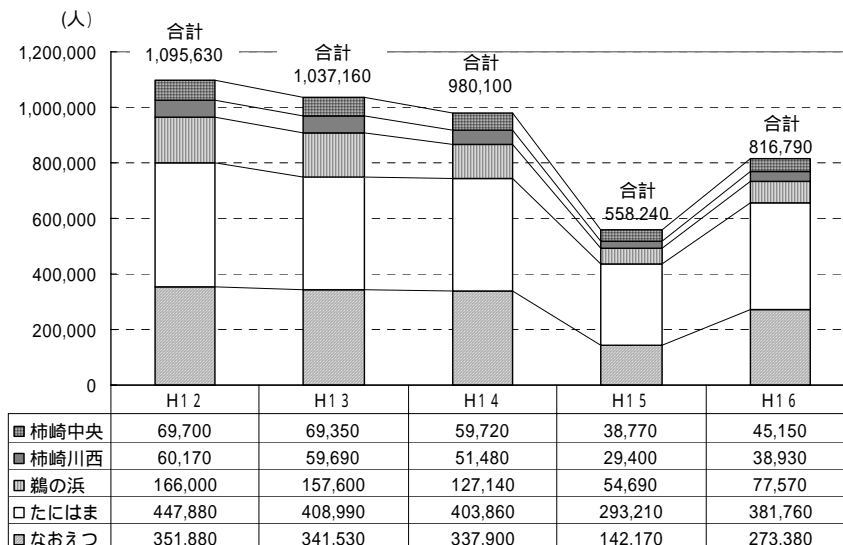
旧上越市 17,200ト (全国 28 位)
 合併後 (+ 1 町) の新潟市 129,110
 合併後 (+ 4 市町村) の長岡市 63,690

* 上記の水田面積のうち減反等により休耕中の部分を除き、水稲の作付けを行っている面積
 旧上越市 3,460ha (全国 33 位)
 合併後 (+ 1 町) の新潟市 23,648
 合併後 (+ 4 市町村) の長岡市 12,301

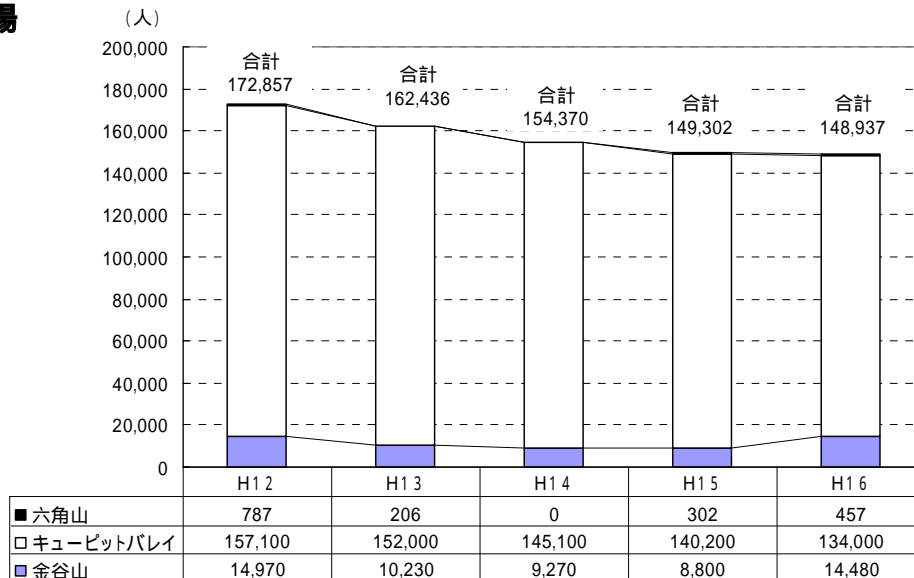
注：新潟県内の市町村データは、平成 17 年 5 月 1 日までの合併に基づく数値。
 (佐渡市：H16.3.1 合併、上越市：H17.1.1 合併、新潟市：H17.3.21 合併、長岡市：H17.4.1 合併、新発田市：H17.5.1 合併)
 欄外の新潟市は現在協議中の巻町 (H17.10.10 編入予定) を加えた数値、また長岡市は現在協議中の
 栃尾市等 4 市町村 (H18.1.1 編入予定) を加えた数値。
 新潟県以外の市町村は、合併を考慮していない。
 参考：農林水産省統計資料

【図表 3 観光客の入込み状況】

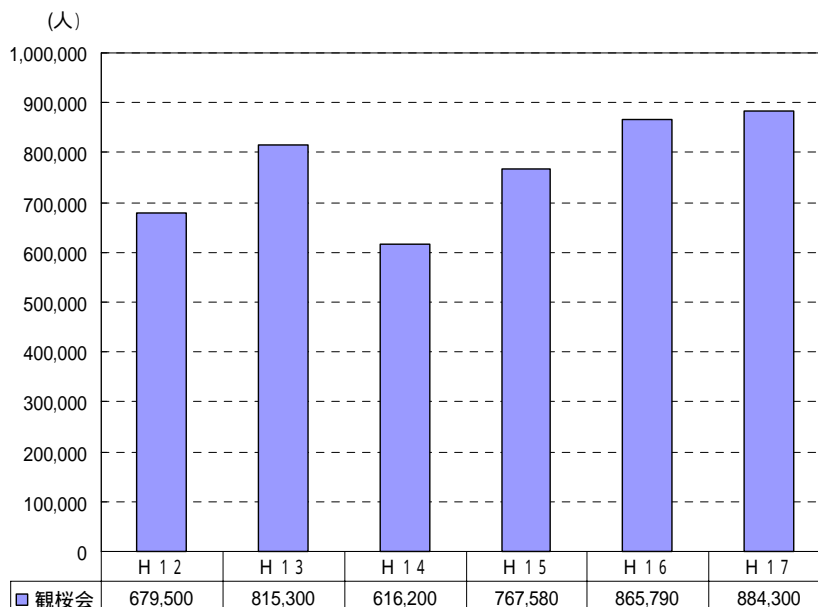
海水浴場



スキー場



高田城百万人観桜会



その他各区の主なイベントの入込数の推移

イベント名	区名	H14	H15	H16
上越まつり	上越	409,000	391,600	395,000
はすまつり	上越	83,000	58,000	76,800
謙信公祭	上越	60,500	39,500	36,000
レルビ祭	上越	22,780	32,000	32,976
小計		575,280	521,100	540,776
キャンドルロード	安塚	10,000	13,100	12,100
うらがわらまつり	浦川原	2,500	2,000	2,300
ほたるまつり	大島	3,000	5,000	5,000
牧っこ雪まつり	牧	800	800	800
お引き上げ商工まつり	柿崎	60,850	63,300	48,640
大潟まつりかっぱ伝説	大潟	10,000	10,000	10,000
頸城の祭典	頸城	24,000	18,000	20,000
越後よしかわ酒まつり	吉川	6,442	7,106	5,000
なかごう夏まつり	中郷	2,500	2,500	2,500
板倉ふれあいまつり	板倉	2,500	4,000	中止
サマーカーニバルin清里	清里	2,700	3,000	3,200
米と酒の謎蔵GWイベント	三和	903	522	952
名立まつり	名立	7,800	7,800	8,000
小計		133,995	137,128	118,492
合計		709,275	658,228	659,268

新潟県内で建設会社の農業参入が広がってきた。政府の構造改革特区で進出しやすくなったほか、公共工事の減少で新たな仕事を見つけて従業員を雇う必要が出ているからだ。各社は希少性の高い農産物に絞りながら、販路開拓に力を入れている。

「はさがけ米は全部欲しいのですが」。頸城建設（新潟県上越市）の小池保信社長は昨秋、高級スーパー、明治屋の担当者から思いがけない提案を受けた。

はさがけ米は収穫した稲を木に架け、天日で干したコメのこと。同社ははさがけ米は五、六千円とブランド米の魚沼産コ

17. 2. 10 日 経

「はさがけ米」「フクロタケ」「ササユリ」…

県内建設各社が農業参入

キーワードは「希少性」

公共工事減り 特区で本業補完 雇用確保急務

食味は抜群という。同社が農業を始めたのは二〇〇三年。株式会社は農地を借りて農業することとを認めた「東頸城農業特区」を活用した。公共工事が年々減り、発注

ている。もちの生産も始まっている。同社の農業ビジネスは二〇〇三年、株式会社が農地を借りて農業することとを認めた「東頸城農業特区」を活用した。公共工事が年々減り、発注

シヒカリをはるかに上回る値段だが、店頭でも人気があるという。移けつは農業や化学肥料を全く使っていない。小池社長は専門書を読み、有機・無農薬栽培を勉強した。単位面積あたりの収穫量は農業を使った場合より少ないが、タニシやイワナも繁殖し

シヒカリをはるかに上回る値段だが、店頭でも人気があるという。移けつは農業や化学肥料を全く使っていない。小池社長は専門書を読み、有機・無農薬栽培を勉強した。単位面積あたりの収穫量は農業を使った場合より少ないが、タニシやイワナも繁殖し



頸城建設のコシヒカリは伝統的な自然乾燥が売り物だ（上越市内で）

同社は九九年から農業を始めた。タイコ、フクロタケを栽培しているのだ。同社は九九年から農業を始めた。タイコ、フクロタケを栽培しているのだ。同社は九九年から農業を始めた。タイコ、フクロタケを栽培しているのだ。

同社は九九年から農業を始めた。タイコ、フクロタケを栽培しているのだ。同社は九九年から農業を始めた。タイコ、フクロタケを栽培しているのだ。

や運輸の新規から輸入した水煮の缶詰は、運搬（上越市）の事務所に、風味や食感が良い生のフクロタケはさらに高く売られる。中テナ内でお湯を沸かし、高温多湿にして育てる。ほとんど日持ちしないのが現在の課題で、栽培方法に工夫を重ねている。同社がフクロタケの種菌を購入する各村建設

や運輸の新規から輸入した水煮の缶詰は、運搬（上越市）の事務所に、風味や食感が良い生のフクロタケはさらに高く売られる。中テナ内でお湯を沸かし、高温多湿にして育てる。ほとんど日持ちしないのが現在の課題で、栽培方法に工夫を重ねている。同社がフクロタケの種菌を購入する各村建設

東京や大阪など大都市住民の実に四割が「田舎暮らし」を望んでいるという調査結果がある。「田舎」の一員である本県、特に遠賀に傾む中山間地は、この膨大なニーズをどうやっておく手はない。県主導で「いざ田舎暮らし推進協議会」(推進協)が発足した。舞台は半世紀で人口が六万人から二万人に減った旧東頸六町村(現・上越市と七日町市)。これまでも地方は「J・J・Jタウン策」に懸命だった。だが、結果がなかなか出ない。今度はどうかが導くのか。迫り来る「二〇〇七年問題」も背景にありそうだ。

旧東頸に「田舎暮らし推進協」発足

五月三十一日、上越市清川原区で開かれた推進協の設立総会には、旧東頸地域の村長(市)の担い手や行政関係者が顔をそろえた。旧東頸政務課の田中謙三課長は新組織について、「仕事」への期待を

定住がセットの官民一体の持続的取り組み。全国でも初めてで「田舎」の真の中山間地域振興の「大成功」と胸を張った。

誘致と決別

従来の「J・J・J」や定住策は、職業紹介や住宅補助策などが中心。行政は団地造成と企業誘致によ

探る

17. 6. 11
新潟日報

人口、収入増へ新戦



上越市の多くの中山間地では都市住民との交流活動が年々広がり地域活性化の柱になりつつある。5月29日、同市清原区北野の田植えツアー

る雇用創出に血眼だった。豊かな自然がある。その上、生活も都会並み。それが目標とされた。しかし、推進協は「田舎暮らし」を中山間地の住民自らが再評価する「信」を出発点とし、「都会」を代弁する協力者(企業、法人)による

雇用創出に血眼だった。豊かな自然がある。その上、生活も都会並み。それが目標とされた。しかし、推進協は「田舎暮らし」を中山間地の住民自らが再評価する「信」を出発点とし、「都会」を代弁する協力者(企業、法人)による

都会の団塊世代移住に照準 体験事業で仕事創出

暮らしを考えている。送る先として東頸、新海は有力地。先進地に負けぬ魅力をどう打ち出し、選んでもらうか。現された時間は二年。利根川氏は推進協の活動に「二〇〇七年問題」の現況が欠かれないと指摘した。

「まずは交流」
では、〇七年問題の団体や「スローライフ」に誘われる若者らに「新海」が導くすれば、定住は着実に増えるのか。「まずは一度来て頂いた」として、

「二〇〇一年度以降、県町村には住民と連携し、農家民泊の拡大やようつく環境、企業・法人による雇用創出に血眼だった。豊かな自然がある。その上、生活も都会並み。それが目標とされた。しかし、推進協は「田舎暮らし」を中山間地の住民自らが再評価する「信」を出発点とし、「都会」を代弁する協力者(企業、法人)による

雇用創出に血眼だった。豊かな自然がある。その上、生活も都会並み。それが目標とされた。しかし、推進協は「田舎暮らし」を中山間地の住民自らが再評価する「信」を出発点とし、「都会」を代弁する協力者(企業、法人)による

「田舎暮らし調査」
〇〇万人のはほぼ半数が三都府圏在住とされ、仮に四割が田舎暮らしを望んでいるとすれば約八百万人に上る。このうち約二百万人以上が移住に動く可能性もある。定住希望先(都道府県)に本県を挙げた人はわずか1.4%(16世帯)。7%以上の沖縄、北海道、長野のトップ3とは大差だ。

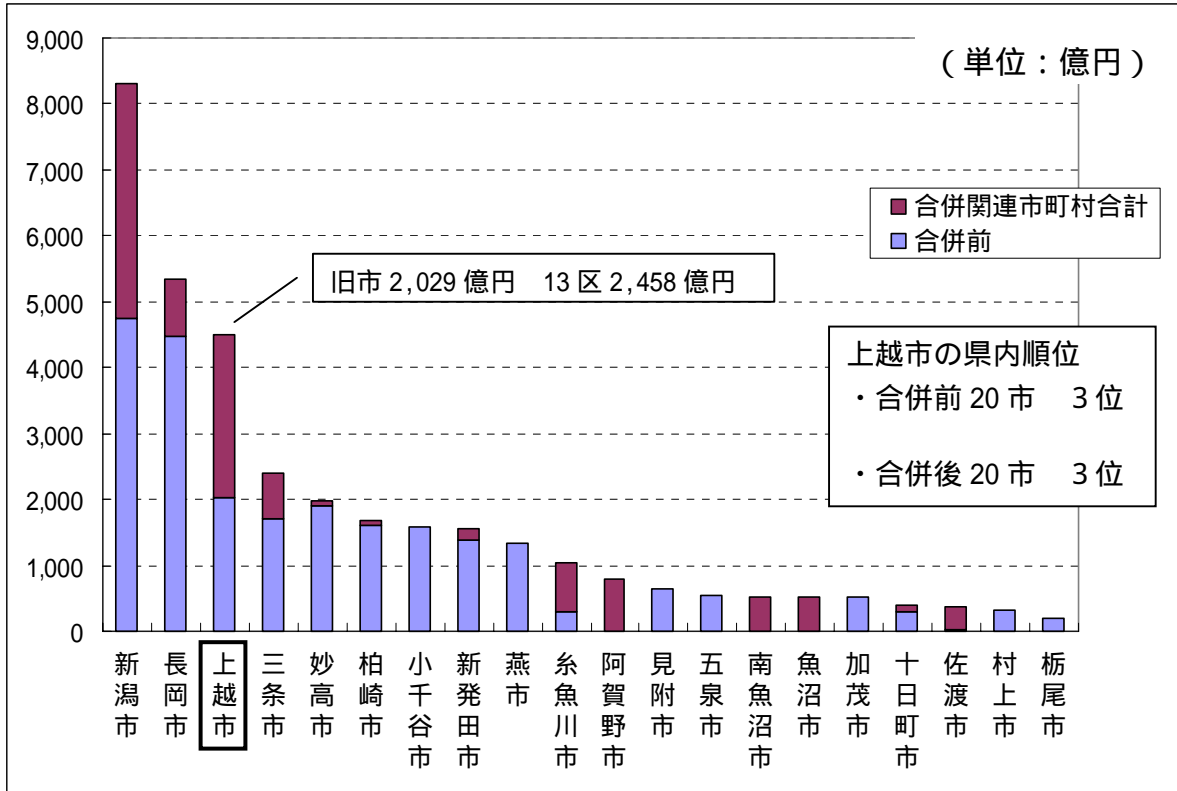
「二〇〇七年問題」
二〇〇七年問題の団体や「スローライフ」に誘われる若者らに「新海」が導くすれば、定住は着実に増えるのか。「まずは一度来て頂いた」として、

【図表6 新市の工業の状況】

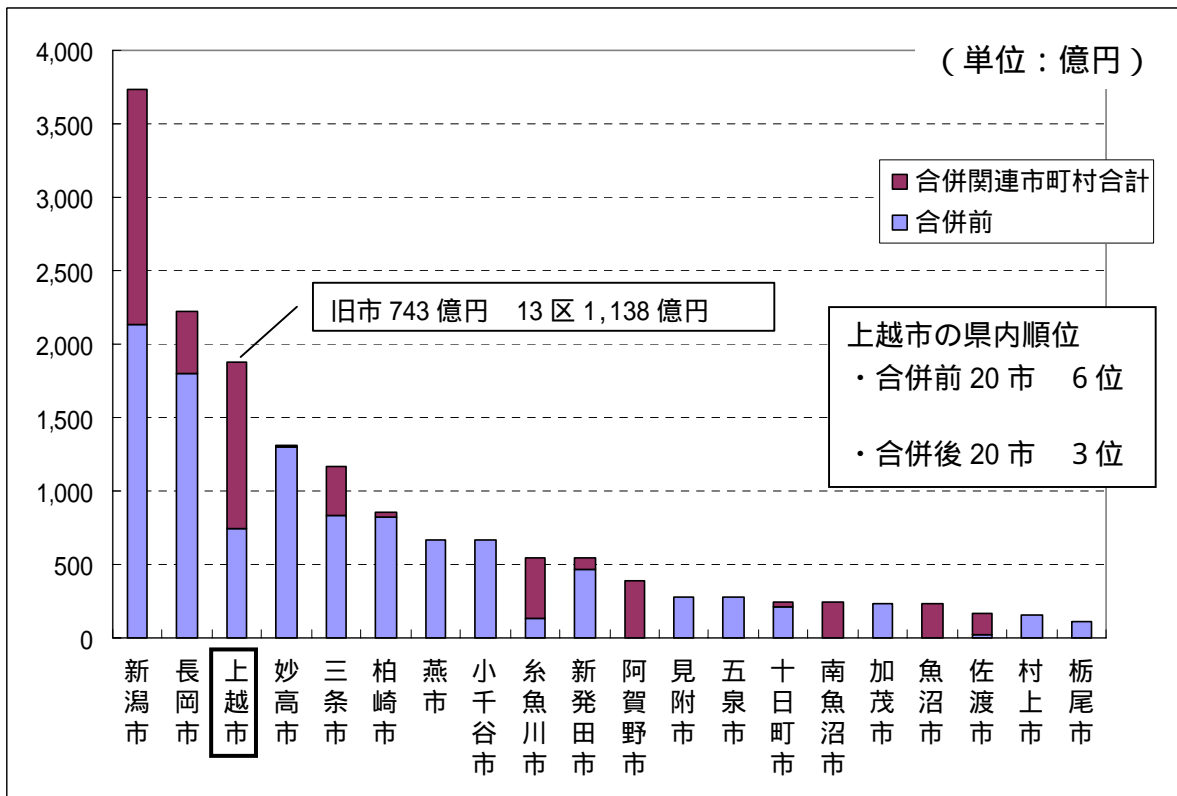
《 新しい上越市の工業は合併により大きく伸びています 》

～付加価値額の伸びは企業の価値創造の高さを示しています～

製造品出荷額（事業所の有する原材料により製造されたものの工場出荷額）



付加価値額（生産額から原材料使用額や減価償却額などを除いた額）



平成 15 年工業統計調査（従業員 4 人以上の事業所）より

【図表7 平成17年度の柱となる施策（主な新規事業及び充実した事業）】

助けあい、支えあい ともにつくる安全・安心なまち（総合計画の基本目標）

豊かな自然と共生する循環型のまちづくり（新市建設計画の施策）

地域で支える健康・福祉のまちづくり（新市建設計画の施策）

- （主な内容） 公共施設の耐震診断調査の前倒し、耐震補強工事の実施（充実）
公立保育園・地域保育園の耐震診断調査を前倒しするとともに、13区の保育園の耐震診断調査を実施（5園 18園）
公立保育園の耐震補強工事（戸野目、古城、夷浜、大和、子安）
児童館の耐震診断調査（富岡、名立）、耐震補強工事（高志）
避難所となっている全ての小・中学校屋内体育館の耐震診断調査を実施（新規）
- 町内会集会場耐震診断、耐震補強工事費補助金（新規）
町内会集会場の耐震診断及び耐震補強工事にかかる費用の1/2を補助
- 通学路等集落間の街灯整備（充実）
合併後の全市域において、現時点で把握している整備が必要な85区間すべてを整備
- 上越ボランティア輸送特区（新規）
NPO等が行う要介護者・要支援者の輸送に一般自家用車の使用を可能にする
- 高齢者筋力向上トレーニング事業（新規）
運動機能の向上を図り要介護状態になることを予防
- 訪問理・美容サービス（充実）
これまでの年4回までを、H17年度から年6回までに拡大
- 家具転倒防止助成事業（新規）
地震による家具等の転倒または落下を防止し、高齢者等の安全を図る
- 高齢者支援ネットワーク整備事業（新規）【安塚区】
ケーブルテレビを利用した見守りネットワークの構築
- 子育てSOS支援相談員、家庭相談員の増員（充実）
子育てSOS支援相談員 1人 3人、家庭相談員 1人 2人
- 児童館の新規開設（充実）
頸城区(4月)及び大湊区(7月)で新規開設（4児童館 6児童館）
- 放課後児童クラブの新規開設（充実）
八千浦小学校、北諏訪小学校、吉川区で新規開設（22クラブ 25クラブ）
- 牧児童遊園整備（新規）【牧区】
公営住宅（牧区）や市道の整備とあわせて、地域住民が交流できる公園を整備
- 妊産婦、乳幼児医療費助成事業（充実）
幼児医療の通院にかかる医療費助成を1年齢拡充（3歳児まで 4歳児まで）
- みんなで歩こう！健康ウォーク2005（新規）
市民の融和と健康づくり意識の高揚を図るため、総勢3,000人のウォークを開催
- 心の健康づくり講座（新規）
心の健康に関する正しい知識の啓発を図る（家族及び地域における基盤整備）
- 脳ドック助成事業（新規）
疾病予防と早期発見・早期治療を促進するため、受診費用の一部を助成

生ごみリサイクル処理（充実）

モデル地区をさらに拡大し、生ごみの堆肥化を民間事業所に委託するほか、生ごみの分別収集を既に実施中の区においてもリサイクルを継続

産業廃棄物不法放置改善事業（新規）【三和区】

県の行政代執行による原状回復事業の対象外とされている旧産業廃棄物焼却炉の撤去に係る調査・設計委託

木造住宅耐震診断支援事業（充実）

木造住宅耐震診断補助事業（H16：20件（実績26件） H17：50件）

橋梁点検維持管理計画作成（新規）

耐震診断や維持管理に関する中・長期計画を作成するための概略点検を実施

F M - J の受信エリアの拡大（送信出力の増強）

災害時緊急放送に対応できるよう出力をアップ（10W 20W）

小・中学校に玄関インターホン設置（新規）

玄関を施錠し、インターホンによる開閉とすることで児童の安全を図る

人・もの・情報が行き交う活力あふれる元気なまち（総合計画の基本目標）
なりわいあふれ活力のあるまちづくり（新市建設計画の施策）

（主な内容）

歴史資源活用推進事業（充実）

市街地活性化へ向けて、市所有の歴史的建造物の活用・整備を進める

軽便鉄道機材等の保管・維持管理（新規）【頸城区】

軽便「コッペル」の将来的な活用を目指して、鉄道機材等の保管及び維持管理を行う

中高年齢者就職講座（新規）

再就職を一層支援するため「中高年齢者就職講座」を年2回開講（7月、11月）

農産物集荷加工販売拠点施設の建設支援（新規）

園芸作物の生産拡大、地産地消の推進を図るための施設建設を支援

振興作物産地づくり交付金（充実）

大豆、ソバ等の米以外の振興作物の産地づくりの推進

地域伝承技術保存事業（新規）

各区の特徴ある伝承技術を後世に伝えるため、データの収集と記録の作成を行う

浦川原里山地域活性化センター整備事業（新規）【浦川原区】

高齢者の生きがい及び女性等の能力を十分発揮するために必要な施設を整備

アグリビジネス創出支援事業（新規）

研究機関と農生産者、JA、農産物加工製造業者、行政など、幅広い分野間の情報交換により、相互の理解と連携を深め、新たな農業ビジネスの創出を図る

食育推進基本計画調査策定（新規）

食育の推進を図る行動計画を策定する

中山間地域等直接支払い補助金

中山間地域の農地保全、多面的機能の維持、農業振興に向けた集落活動等の推進

ため池等維持修繕助成事業（新規）

地域が行う「ため池」修繕工事に対し助成する（補助率 1/2、50万円限度）

住宅建築等促進金融融資制度・同利子補給事業（新規）

勤労者住宅建築資金低利貸付制度と持家住宅低利建築資金貸付制度を一本化
融資内容 ---- 限度額：1,000万円、利率：年1.8%（固定）、償還期間：20年

バイオマスタウン構想策定（新規）

バイオマス資源利活用の実態調査を通じた課題の抽出及び民間が取り組むバイオマス事業の育成に向けた推進体制の検討を行う

見本市等出展事業補助金（新規）

市内の中小企業が自社製品を県外の商談会に出展するための経費に対して補助

商店街活性化基盤整備事業補助（新規）

本町5丁目商店街振興組合が行う商店街の情報発信基地の整備、公共トイレの設置、中山間地の産直物産品の販売や体験事業などの地域間交流に対し補助

直江津まちなかイベント開催会場整備事業補助（新規）

舗装、照明灯の設置、小屋の移設等の整備事業に補助

企業支援コーディネーター活用（新規）

企業取引等に精通し専門的立場で指導できる人材を雇用し、新たなビジネスチャンスの開拓に必要な知識やノウハウを提供

市内企業情報のホームページ開設（新規）

保有技術や設備の積極的な情報提供により受注機会の拡大に資する

第三次観光振興5か年計画策定（新規）

今後の観光振興の在り方を提示する第三次観光振興5か年計画を策定

谷浜海水浴場臨海学校受入整備事業補助金（新規）

長野市臨海学校受入用監視員・テント等の整備の補助（宿泊は民宿を利用）

鵜の浜温泉街再開発事業（新規）【大潟区】

観光案内看板設置 1800mm×3600mm 5ヶ所

人と人がふれあい、豊かさを育て、高めあえるまち（総合計画の基本目標）

豊かな心を共にはぐくむ文化と教育のまちづくり（新市建設計画の施策）

（主な内容）

学校耐震診断調査、耐震補強工事の推進

耐震診断調査...城西中学校・飯小学校・牧小学校

耐震設計.....東本町小学校・城西中学校

耐震補強工事...南本町小学校・柿崎中学校

安全・安心な教育環境の整備推進

給食室増築事業

戸野目小学校...増築工事

東本町小学校・春日中学校...設計

大町小学校改築事業（H13～H18）

春日新田小学校校舎増築事業（増築工事）

直江津小学校改築事業（設計）

清里小学校改築事業（改築工事）

城北中学校校舎改築事業（改築工事）

中郷中学校改築事業（改築工事）

清里中学校改築事業（設計）

柿崎中学校大規模改造事業（改造工事）

上越地域のいまむかし文化・歴史展（新規）

各地域の歴史・文化を一堂に紹介する企画展 6月12日(日)～26日(日)

上越地域の文化団体の活動発表、地域の歴史・文化を映像で紹介

雪国文化村リゾート推進事業（新規）【安塚区】

夏季の集客増加策として「ふれあい昆虫館」を整備するため実施設計委託を行う

社会教育館・直江津図書館のあり方検討（新規）

社会教育館・直江津図書館のあり方について、新施設の整備を含めた検討を行う

米沢交流事業（新規）

上杉謙信公を通じ、両市の児童が互いに交流を行う

新上越を学び隊（新市域全体を学ぶ講座）（新規）

合併後の市域全体の施設、景勝地、史跡等を訪ね、各区の住民の説明により相互交流しながら新上越の地域づくりのための宝物を発見、確認

榊原の名宝展（新規）

康政公から14代政敬公にいたる榊原の歴史とその時代を紹介

小林古径の世界展（新規）

所蔵する素描作品に加え、高品質のデジタルアート作品を展示し、古径の画業を紹介

吹上遺跡シンポジウムの開催（新規）

吹上遺跡の調査成果を公開し、遺跡の価値と重要性について説明

図書館にインターネット情報検索用パソコン設置（新規）

高田図書館 3台、直江津図書館 1台、浦川原分館 1台（頸城分館は、設置済み）

高田公園野球場整備計画策定委託（新規）

グラウンド拡張調査、観客席整備調査、安全対策調査を行い、整備計画を策定

大潟多目的体育館建設事業（新規）【大潟区】

大潟地区で伝統的に盛んな体操競技と多目的利用が可能な施設を整備

歴史、文化、自然をつなぎ、快適な暮らしを創造できるまち（総合計画の基本目標）

地域の個性（特性）をいかし、交流・発展を支援するまちづくり（新市建設計画の施策）

（主な内容）

市内一円道路修繕工事費の充実

H16予算(14市町村計)：306,347千円 H17予算：358,140千円(16.9%増)

上越市総合交通計画基本計画策定（新規）

地域の拡大に伴う一体的なまちづくりに向け、公共交通ネットワークの確保・整備とそれを活用した住みよいまちづくりを目指す

直江津工業高校跡地利用事業（新規）

跡地の有効利用として、教育関係の拠点施設となる教育総合センターほかの整備を図る

八千浦地区交流施設新設事業（新規）

地域住民のコミュニティの醸成を目的とした交流施設を建設する

情報格差解消インフラ整備調査事業（新規）

地上波テレビの難視聴解消など、情報格差の解消を図るインフラ整備に関する全市的な調査を実施する

名立区情報通信網整備事業（新規）【名立区】

通信事業者が行う名立区全域のADSL網整備に要する装置や局舎増改築の費用を補助

新世代地域ケーブルテレビ施設整備事業（新規）【吉川区】

多くの地域のテレビ難視聴を解消するとともに、ブロードバンド環境を提供するためのケーブルテレビ施設を整備する

小姓人橋（新規）

地域住民の生活に密着した人道橋を復元し、高齢社会の対応や利便性の向上を図る

「水戸の川」改修（新規）

改良等の整備を行うことにより、流下能力を増大させ浸水被害防止を図る

関川水辺プラザ整備事業（新規）

17年度用地取得予定：10,754㎡

くびきの森自然公園の基本設計及び実施設計 【頸城区】

旧保倉川河川敷周辺の自然を活かし、くびきの森自然公園として整備

都市基盤整備の推進（主なもの）

土地区画整理事業の推進（関川東部オフィスアルカディア土地区画整理事業ほか）

庁舎周辺高度土地利用計画事業（集会施設の基本設計委託）

安国寺線の路線測量等（新規）

新幹線新駅周辺整備事業（まちづくり調査委託、信越本線移設事業調査委託）

高田駅西口整備事業（交通実態調査、調査測量、地質調査）

本町大貫線街路事業（道路概略設計等）

裏寺線（用地測量）

市之町バイパス線整備事業（用地買収ほか）

上越総合運動公園整備事業（テニスコート基盤整備工事、クラブハウス実施設計）

柿崎総合運動公園整備事業（用地取得、実施設計）

黒井藤野新田線（新規）

黒井駅南口整備の基本設計（新規）【頸城区】

みんなで創るまち 協働のまち（総合計画の基本目標）

地域コミュニティなどをいかした協働のまちづくり（新市建設計画の施策）

（主な内容） 行政改革の取組み（充実）

指定管理者制度の導入推進、公共施設管理検討委員会の設置

事務事業の第三者評価（行政評価業務）の実施、行革市民会議の設置

暮らしの便利帳の全戸配布（新規）

市の各種サービスや手続き、主な施設案内等を一冊にまとめ、全世帯に配布

市民相談員の増（充実）

各区に市民相談員を1人ずつ配置し、毎週1回相談を行う

自治基本条例検討事業

市民と行政との協働により自治基本条例の素案づくりを行う

第5次総合計画の改定事業（新規）

市民との協働により、新市建設計画を踏まえながら第5次総合計画の改定を行う

ユニバーサルデザイン推進事業（新規）

ユニバーサルデザインに基づく施策、事業などについて、総合的・体系的に検討する

戸籍電算化事業（新規）

戸籍情報の記録性・正確性を高めるとともに、戸籍事務の効率化・合理化を図る

農家農地基本台帳システム統合（新規）

農家農地基本台帳のデータを統合し、一元管理できるシステムを構築する

荒井活性化センター建設事業（新規）【牧区】

地域住民が潤いとゆとりの持てる生活の場を確保し、集落の活性化を図る